

平成26年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	健康長寿のための普遍的代謝調節経路の包括的・発展的研究
研究代表者	門脇 孝
審査の所見	<p>不健康食で短命になるアディポネクチン受容体欠損マウスを用いた応募者らの従来の研究は、独創的で社会的貢献度も高く、アディポネクチン研究においては世界の最先端を走っている。応募者の実績を考えると、研究遂行能力は十分であり、研究組織においても十分な陣容が整っている。受容体を活性化する低分子化合物も開発されており、臨床応用を睨んだヒトにおけるアディポネクチンシグナルの更なる検討が待たれる。以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>